

## 高校・一般の部 優秀賞

丹生 美智代

終戦80年となった今年のその日は、帰省先の実家で黙とうをささげた。そして、わたしの父は終戦直後に産声をあげたため、ちょうど80歳の節目の年となった。80歳という年令の話から、自然に話は、祖母のことにうつった。祖母はあまり体が丈夫ではなかったもので、とくに戦後の母子の健康管理など、困難なことが多かったという。祖母の小さく丸い背中しか記憶にないが生きようとするたくましさを感じた。祖母にかぎらず、戦後混乱期に、産じょく期を送っていた日々は、現代とはまた違う厳しい状況下での生活だったと思う。それと同時に、戦後の困難な時期を乗り越えてきてくれたからこそ、今、こうして命がつながっていることに、とても感謝したいと、私はつくづく思った。そして感謝の思いを家族で話せたことも、平和へつなげられる一歩として考えても良いのではないかと思った。